[redacted]

[redacted]

- [redacted] [redacted]

個人性（我、エゴ、思考）全体性（愛、意識、気づき）の特徴

個人性主軸の人の特徴	全体性主軸の人の特徴
☆自分がよくなるとうれしい 自分が悪くなると苦しい	☆みんな（相手）がよくなるとうれしい みんな（相手）が悪くなると苦しい。
☆主に親（生まれた家・代々）の考えや思考、信念、そして鎮圧（反発）などによって形成されている。	☆主にはじめからそなわっている良し悪し、気づき、また事実認識している（できる）部分。
☆段取りをつけること、名前をつけて分別することが得意。組み立てや整理も得意だが、本当の愛やぬくもりはない。記憶装置のような役割も担っている。	☆無からの創作や、未知や神秘といった「わからない」といった真実への理解
☆自分の都合にあわない事実を封印したり捻じ曲げることがある （知らないふりをするなど、自分を守る役割として）	☆事実（真実）を認識することができ、その中にいい悪いのジャッジメント（ （あらゆる本当（事実）に気づいている）
思い込みが強く、鎮圧抑圧が一種の行動エネルギーになることもある。自分に生かせることもあるが破壊行動にもなり得て危険であり、自分自身で抑制・コントロールが難しくなる時もある。	そうなると普通こうなるといったような科学的に原因と結果をただ瞬時に推測＆認識し判断し行動することで、自分にと
自分のことへの興味が強く、 他人からどう思われているかや、 自分に何が起こっているかなどに関心がある。	自分を全体の一部と認識し、自分だけのことにはあまり興味がない。 他人からどう思われているかよりも自分がどう思っているかに関心がある。
勝つことや自分が正しいこと、自分の意見が通ることに喜びを感じ、そこに価値を見出している。しかし、それが通らないと苦しくなる その結果人生において理想から遠ざかってしまうことになる。	負けれる、負けを選べる心が愛しさを失わない大切コツだと気づいている。負けを選ぶ余裕がある心ゆえに、結果としてはいつも勝つこ そのため最終的には人生において理想に近づくことになる。
自分の考えが正しいと思っている。 （自分はこれだけやってるのに‥、周りが理解してくれない、あるいは周りの考えが間違っているとなる）	自分の考えが必ずしも正しいとは思っていない。 自分の「正しさ」を疑い、検証できる（個人的な思考や会話に気づき、自らの問題に気づくことができる）
自分の考えを俯瞰して検証することができず、考えと同化してしまい、自分と考えが一体化している。また、自分の考えが優先されると	自分の考えと他人の考えを同じ土俵で検証することが難しい自分の考えに気づいており、考えと同化することはない。自分の考えと他人の考えを同じ土俵に上げて検証できるため、どちらの立場に
自分の考えこそが自分自身と思っている。	自分の考えは常に意識され、常に検証の対象とされている。
自己関心が強いため、自分に起きたこと（評価や体調不良など）が過剰に気になる。その結果、慢性的に自分にトラブルを抱えることになる	自己関心が薄いため、あまり焦ることはない。身を守りたくなる自分に気づきつつも、流れに身
自と他の区別が激しく、敵対しやすい。	一体感の中、安らいでいる。 （許せないことに気づき自、それが自らの問題だ理解して解決してゆくことで、許せることが増えていっている）

[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]UP[illegible]	[illegible]